

10月7日～31日 季節の彩を題材に 絵手紙展を開催



絵手紙サークル「絵手紙摩周湖」(藤原直美代表)の絵手紙展が10月7日から31日まで、弟子屈郵便局(藤原将男局長)ロビーで開催されました。

同サークルは毎年同局で作品展を開催しており、今回ははがきだけではなく、便箋や封筒に柿やサツマイモ、栗ごはんなど秋を感じる絵手紙が27点展示され、来場者の目を楽しませていました。

カメラスケッチ

広報マンが行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 482-2913 (課直通)

10月23日

色々な人たちが利用しやすいまちづくり ユニバーサルデザイン実態調査を実施



車椅子に集り当事者目線での調査

てしかがえこまち推進協議会(徳永哲雄会長)のユニバーサルデザイン部会(藤原俊和部会長)は10月23日、摩周駅と川湯温泉駅のユニバーサルデザイン実態調査を行いました。この活動は、町民はもちろん、外国人や障害などを持つ観光客にとっても使いやすい施設の在り方を学ぶ目的で実施されました。調査には、NPO法人北海道ユニバーサルツーリズム推進協議会(我妻武理理事長)の鈴木幹夫事務局長とともにチェックリストを作成し、各々で感じたことなどをまとめました。

調査に参加した藤原部会長は「住んでも来ても楽しいまちになるように、今回の調査をきっかけに町内のユニバーサルデザインの推進に繋がれば」と話していました。

10月17日、21日

体験を通して学ぶ 川湯保育園で防災教室、車いす体験を実施



消火体験の様子

川湯保育園(番場新一郎園長)は10月17日に防災教室、21日に車いす体験を行いました。

防災教室では、弟子屈消防署の職員4人が来園し、避難訓練や消防車の設備を説明した後、園児たちが、実際に消防車の水を使った消火体験などを行いました。

車いす体験では、町社会福祉協議会の職員2人から車いすの乗り方、操作方法を学び実際に操作しました。

両日とも、普段気になっていることなどを質問し、将来使える知識を学びました。

10月29日

広い視野に立った人材育成 ふるさと人材育成事業成果報告会



成果を発表した川さん(左)

ふるさと人材育成事業成果報告会が10月29日、町役場で開催されました。同事業は、国際化、情報化に対応した広い視野を持つ人材育成のため、国内外での研修や留学、技術習得などへ助成しています。今回、第44回富士山青少年交流キャンプに参加した石川彩葉さん(弟子屈中学校1年)が成果報告を行いました。報告会では、「多くの友達ができた。富士登山では頂上まで行けず悔しかった。また挑戦したい。」など思い出を発表しました。

岩原勝行教育長は「貴重な体験をたくさんしている。ぜひ同級生にも声をかけて誘ってほしい。」と話していました。

11月1日～29日

色豊かな作品と個性豊かな作品 「押し花サークル野の花」作品展と 「税に関する園児のぬりえ展」を開催



園児たちの作品の数々

弟子屈郵便局(藤原将男局長)では、11月1日～29日に「押し花サークル野の花」作品展、11月～22日まで「税に関する園児のぬりえ展」が開催されました。

押し花作品展は、花で天の川を再現した作品やシマエナガの作品など12点を展示。ぬりえ展は、「税を考える週間」に合わせ、町青色申告会(平塚一明代表)が、国税電子申告・納税システム[e-Tax]の活用を推進するために開催。同郵便局では、認定こども園まじゅう(鈴木幸榮園長)の園児作品32点、川湯郵便局(上村明則局長)では、川湯保育園(番場新一郎園長)の園児作品11点が展示。両作品展とも、色鮮やかな作品が多く来場者の目を楽しませていました。



多くの人が参加

講師の山口主査

技術環境研究本部 研究所の山口高志主査が、摩周湖周辺の景観の変化について、1977年と2008年の航空写真を実際に見ながら、枯れてなくなった樹木や草地化した箇所などを比較して、鹿の食害などの外的要因や大気汚染などによる人為的な要因が関係しているか把握するにはデータ収集が重要で、継続した調査が必要だと指摘していました。

また、摩周湖の霧は酸性度が低く、他の地域で発生するものよりもきれいな状態だと分析しており、今後も摩周湖にとってよりよい保全は何かを考え、実践しなければならぬと話していました。

会場には定員を超える約50人が参加し、講演に耳を傾けていました。

「摩周湖の景観は変わったのか!？」

阿寒摩周国立公園90周年 記念講演会を開催



講演の様子

屈斜路カルデラ自然ふれあい協議会(徳永哲雄会長)が11月2日、阿寒摩周国立公園指定90周年を記念し、「摩周湖の景観は変わったのか!？」摩周湖を取り巻く環境の変遷とこれから」をテーマとした講演会を川湯ビクターセンターで開催しました。

講演では、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構産業エネルギー・環境・地質

町の話題

CloseUp Topics

第1回「旨いもの市」と 職業体験イベント「job school」 同時開催



犯人を特定

通行人役から情報収集

同日、弟子屈小学校(渥美清孝校長) 駐車場では、町内の小学校5年生、6年生を対象とした、職業体験イベント「job school」を開催。弟子屈消防署(池田保士署長)や(南九高産業(村岡卓代表取締役)、摩周湖農協(川口寛組合長)など、ブリス毎に小学生が訪れ、いろいろな仕事を体験しました。

弟子屈警察署(五十嵐敏行署長)のブリスでは、参加した小学生が警察官役となって窃盗事件の犯人役を捜索し、逮捕するまでの「事件捜査」を体験しました。被害者役や目撃者役からの情報を頼りに犯人役を捜索、盗まれたものを無事被害者役の手に返すことができました。

参加した小学生には「旨いもの市」で利用できる商品券が贈られ、「自分で働いて美味しいものを食べる。お金を稼ぐ面白さと苦勞を学ぶ。」貴重な体験イベントとなりました。



多くの来場者



町外の商工会も出店

町商工会青年部(西崎勉部長)が11月3日、役場駐車場で「第1回旨いもの市」を開催しました。

釧路管内、根室管内、オホーツク管内の各商工会青年部と、摩周湖農協青年部、本町役場職員親交青年部などが協力して開催されたもので、肌寒い気温でしたが晴天に恵まれ、多くの来場者が道東の秋の味覚を買い求めていました。